



# 令和5年度 ふくしま情報モラル診断 の実施結果について

福島県 / 福島県教育委員会 / 福島県警察

この事業は、国内外からお寄せいただいた寄附金をもとに造成された「福島県東日本大震災子ども支援基金」により実施しています。

### ～ ふくしま情報モラル診断について ～

ふくしま情報モラル診断は、こどものインターネットの利用状況や基礎知識の習得度合いを把握し、その向上と改善を目的に実施しました。インターネットの利用状況を調査する『アンケート』とインターネットを活用するための理解度を確認する『診断問題』で構成されています。

#### 【アンケート】

小学生 1、2 年	6 問	小学生 3 年～高校生	7 問
保護者（小学生 1、2 年）	4 問	保護者（小学生 3 年～高校生）	3 問

※ スマートフォンの所持率やインターネットの利用状況、フィルタリング率などを調査します。

#### 【診断問題】

小学生 1、2 年	6 問	小学生 3、4 年	10 問	小学生 5、6 年	10 問
中学生	15 問	高校生	15 問	保護者	10 問

- ・ 小学生・中学生（保護者も含む）用の問題は、学期毎に内容を入れ替えて出題（1学期は基礎的な問題）
- ・ 高校生（保護者も含む）用の問題は、通年で同じ内容を出題
- ・ 診断問題は、福島県HPで公開しています。

※文部科学省の「情報モラル指導モデルカリキュラム表」が示す指導内容の5分類（情報社会の倫理、法の理解と遵守、安全への知恵、情報セキュリティ、公共的なネットワーク社会の構築）により診断問題を作成しており、児童生徒が各段階で身につけておくことが望ましいとされる内容となっています。

**福島県では、福島未来を担うこども達が、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を身に付け、ICTを活用して問題解決できる能力を伸ばし、夢や希望をもって活躍できることを応援しています。**

### ふくしま情報モラル診断の合言葉は、「みんなで！」

- 児童生徒も、保護者も、県民も、ふくしまみんなが参加できるシステムです。
- イラストとタップ操作の楽しさで、こどもから大人まで、繰り返しチャレンジしたくなるシステムです。

#### 【令和5年度調査結果】

- ・ 県内小中学校、高校、特別支援学校 387校が調査に参加

内訳	小学校	236校	
	中学校	122校	
	義務教育学校	4校	
	高等学校	19校	
	特別支援学校	6校	
			計387校

- ・ 参加児童生徒数など

内訳	小学生	36,847人	
	中学生	21,989人	
	高校生	3,865人	
	保護者	40,067人	
			児童生徒計62,701人



#### 留意点

- 本調査は福島県内の小中学生、高校生を対象として実施した「ふくしま情報モラル診断」の実施結果である。
- 小学校1年生から高校3年生までを児童生徒と表記する。
- nは質問に対する回答数で、100%が何人の回答に相当するかを示す基数である。
- 結果数値(%)は1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがある。

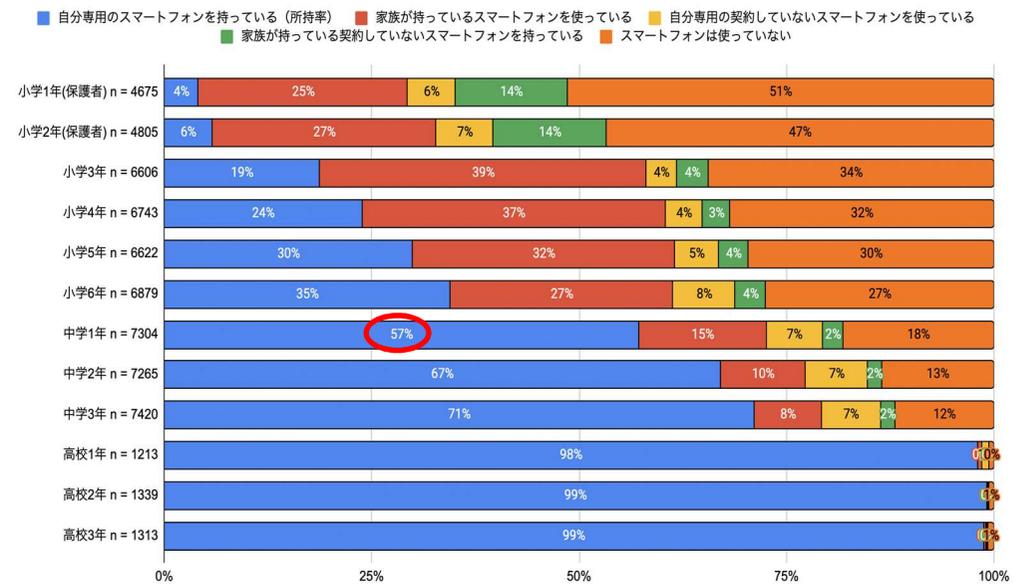
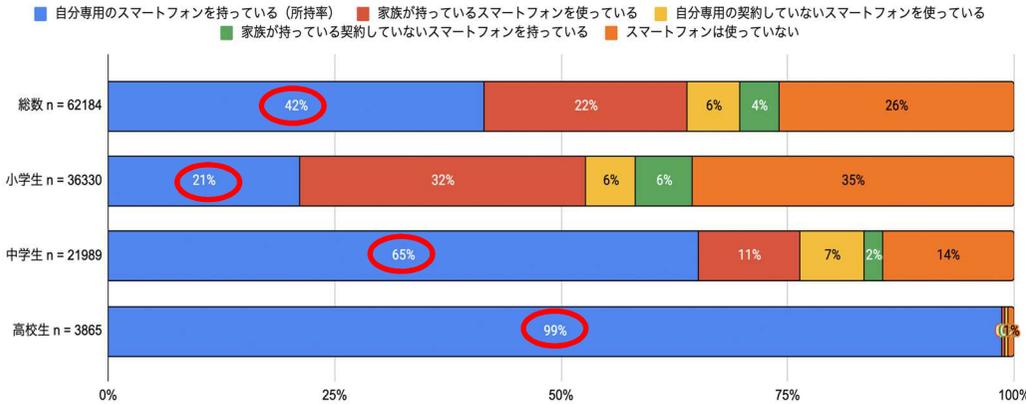
## 目次

1. スマートフォンの使用状況（所持率）
2. インターネットの利用状況（利用内容）
3. インターネットの利用状況（勉強以外での利用時間）
4. インターネットの利用状況（勉強での利用時間）
5. フィルタリングの利用状況（保護者回答）
6. インターネットの利用に関する家庭のルールの有無
7. インターネットによるトラブルの有無
8. 診断問題平均正答率
9. 【参考資料】診断問題で正答率が低い問題

# 1. スマートフォンの使用状況（所持率）

- 児童生徒の42%が、自分専用のスマートフォンを所持していると回答。
  - 学校種別でみると、小学生の21%、中学生の65%、高校生の99%が自分専用のスマートフォンを所持。
  - 中学校1年生で自分専用の割合が50%を超える。
- （注）小学校1・2年生は保護者が回答、小学校3年生から高校3年生までは児童生徒が回答

## 問1 あなたはスマートフォン（携帯電話を含まない）を使っていますか？



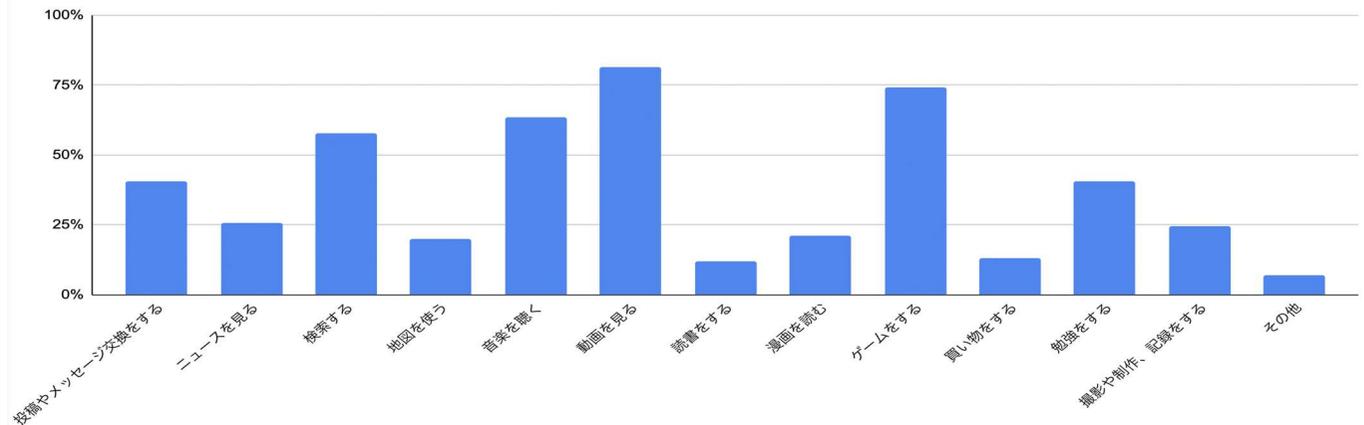
## 2. インターネットの利用状況（利用内容）

- インターネットの利用内容の内訳は、 ※複数回答  
 小学生では、動画を見る（74%）、ゲームをする（72%）が上位。勉強をする（36%）。  
 中学生では、動画を見る（93%）、音楽を聴く（84%）が上位。勉強をする（48%）。  
 高校生では、動画を見る（97%）、音楽を聴く（93%）が上位。勉強をする（46%）。

### 問2 あなたはインターネットを使って何をしていますか？（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等を含む）

	投稿やメッセージ交換をする	ニュースを見る	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	漫画を読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他
小学生 n=36847	18%	18%	40%	10%	48%	74%	11%	10%	72%	7%	36%	19%	7%
中学生 n=21989	69%	35%	83%	30%	84%	93%	13%	34%	77%	16%	48%	31%	6%
高校生 n=3865	87%	46%	84%	55%	93%	97%	17%	51%	78%	55%	46%	42%	6%
小学1年生 n=4598	8%	23%	21%	12%	39%	66%	21%	12%	61%	14%	52%	37%	8%
小学2年生 n=5399	8%	26%	29%	12%	46%	71%	23%	12%	69%	13%	60%	36%	9%
小学3年生 n=6606	10%	14%	26%	8%	36%	66%	9%	7%	68%	5%	30%	9%	8%
小学4年生 n=6743	17%	12%	39%	8%	43%	73%	6%	6%	73%	3%	27%	11%	7%
小学5年生 n=6622	26%	14%	50%	9%	53%	78%	6%	10%	78%	4%	27%	13%	6%
小学6年生 n=6879	35%	19%	65%	13%	64%	84%	7%	15%	80%	5%	30%	17%	5%
中学1年生 n=7304	70%	35%	84%	31%	85%	92%	13%	35%	78%	16%	46%	32%	6%
中学2年生 n=7265	71%	36%	84%	31%	85%	93%	13%	35%	78%	16%	47%	32%	6%
中学3年生 n=7420	76%	44%	87%	38%	90%	95%	16%	42%	74%	24%	56%	34%	6%
高校1年生 n=1213	88%	45%	87%	49%	94%	97%	17%	46%	78%	44%	46%	39%	6%
高校2年生 n=1339	88%	43%	84%	56%	94%	97%	18%	54%	81%	57%	49%	43%	7%
高校3年生 n=1313	86%	50%	81%	58%	92%	96%	17%	53%	75%	62%	42%	45%	7%

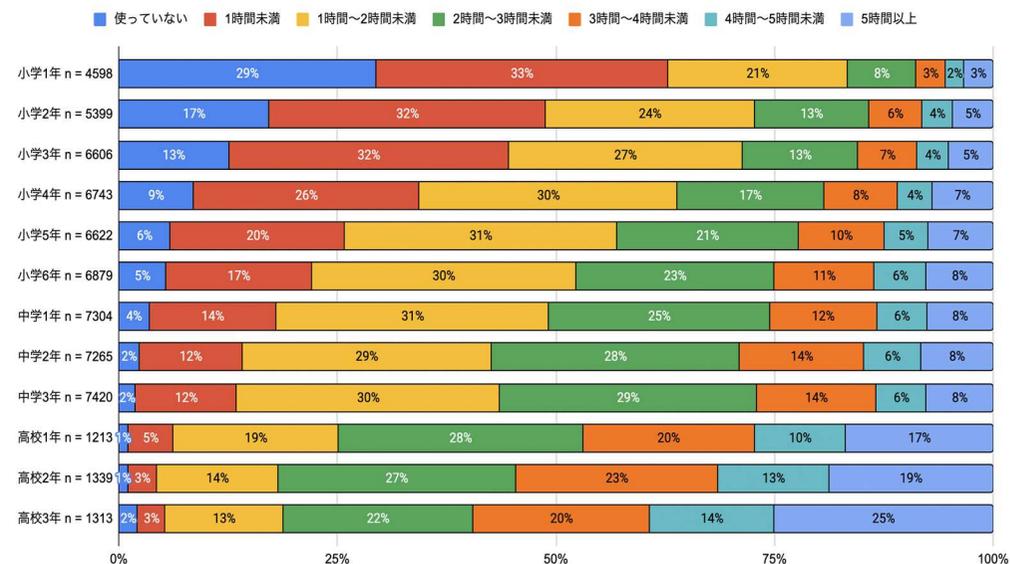
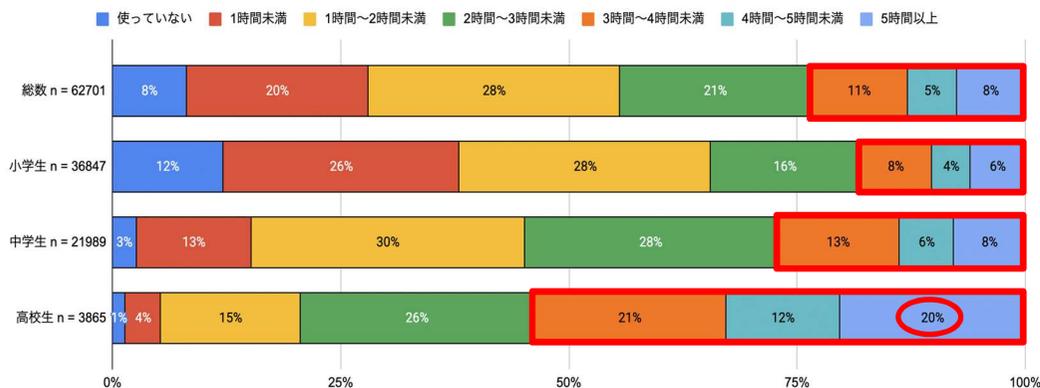
総数の内訳



### 3. インターネットの利用状況（勉強以外での利用時間）

- 平日1日当たり、勉強以外で3時間以上利用している児童生徒の割合は、24%。
- 学校種別でみると、小学生の18%、中学生の27%、高校生の53%が3時間以上利用していると回答。
- 勉強以外での利用時間は、学年が上がるとともに増加傾向で、高校生の20%が5時間以上利用。

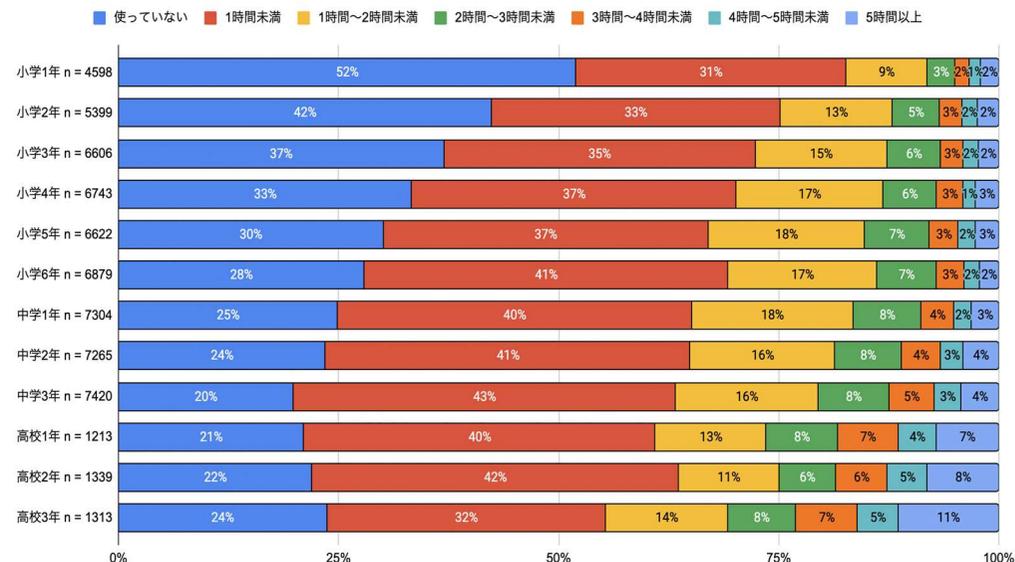
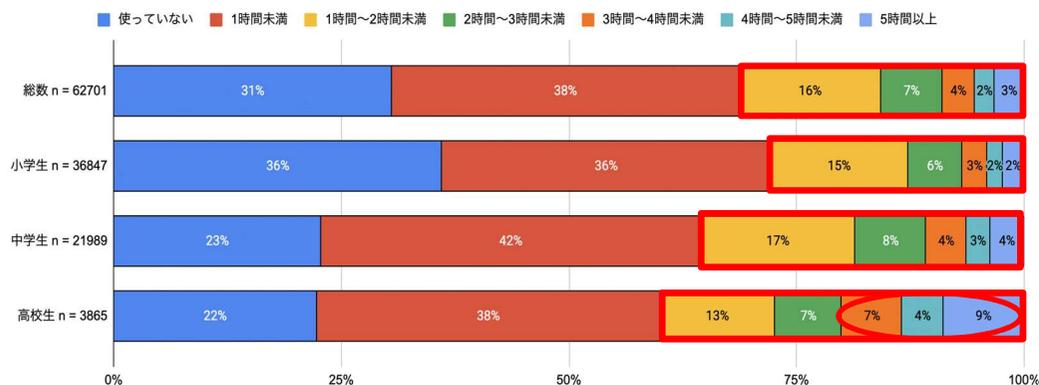
問3 あなたは、平日（土日祝を除いて）1日に平均して、勉強以外で、だいたいどのくらいの時間、インターネットを使いますか？  
（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等を含む）



## 4. インターネットの利用状況（勉強での利用時間）

- 平日1日当たり、勉強で1時間以上利用している児童生徒の割合は、32%。
- 学校種別でみると、小学生の28%、中学生の36%、高校生の40%が1時間以上利用していると回答。
- 勉強での利用時間は、学年が上がるとともに増加傾向で、高校生の20%が3時間以上利用。

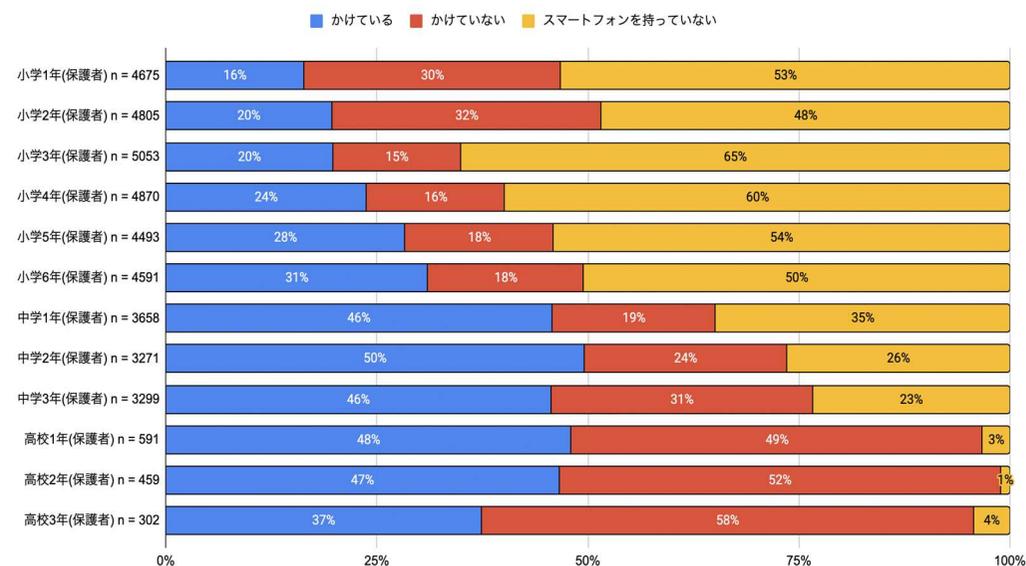
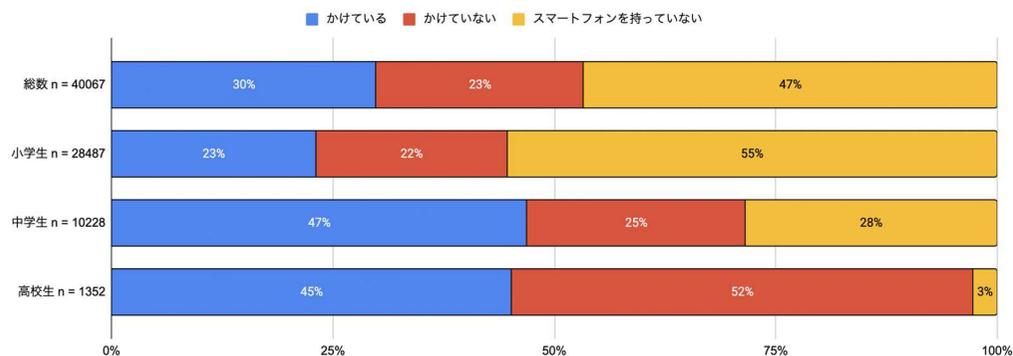
問4 あなたは、平日（土日祝を除いて）1日に平均して、勉強で、だいたいどのくらいの時間、インターネットを使いますか？  
（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等を含む）



## 5. フィルタリングの利用状況（保護者回答）

- こどもが使うスマートフォンのフィルタリング利用率は57%。
- 学校種別ごとのフィルタリング利用率は、小学生51%、中学生65%、高校生46%。

問5 あなたのお子様が使っているスマートフォンにフィルタリングはかけていますか？



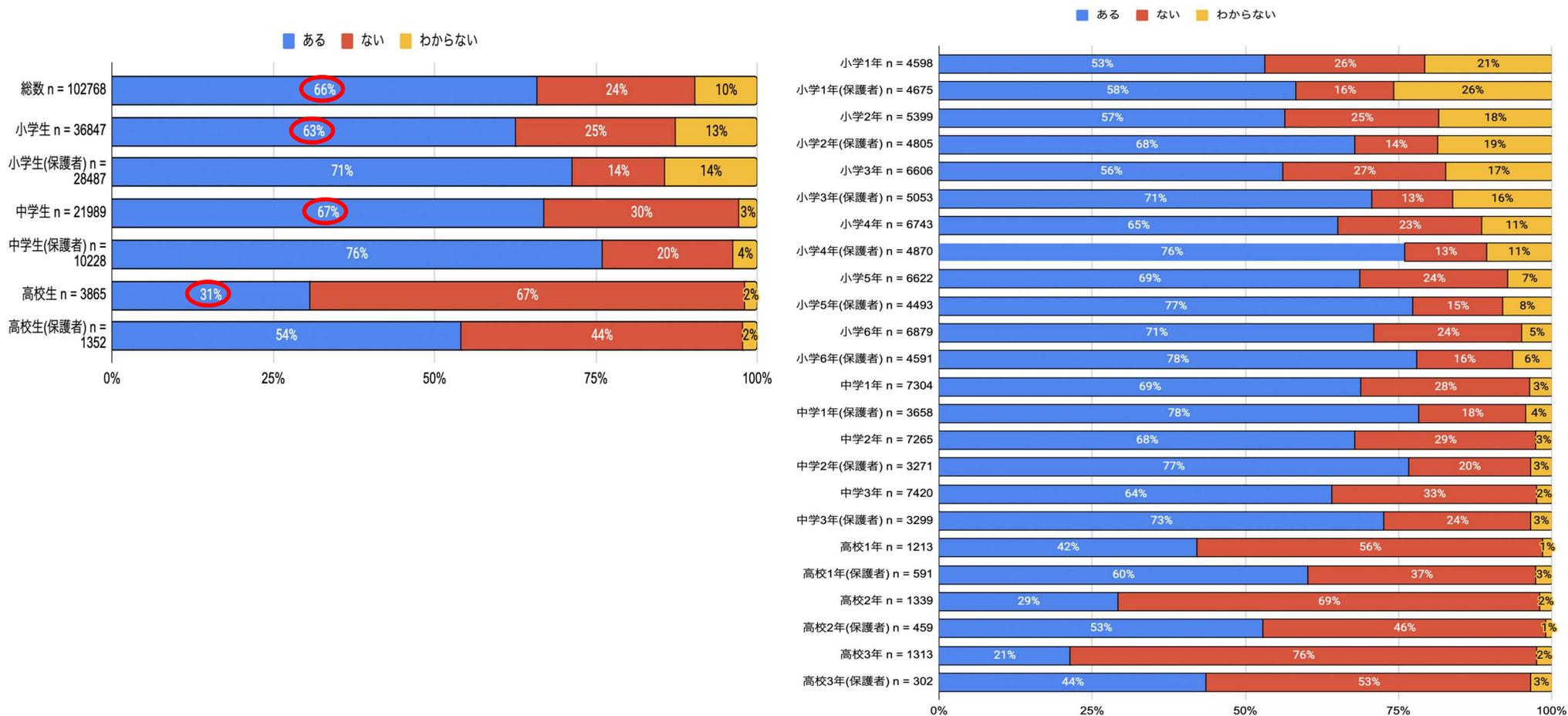
	フィルタリング利用率
小学生	51%
中学生	65%
高校生	46%
総数	57%

(注) フィルタリングを「かけている」、「かけていない」の回答をベースに算出

## 6. インターネットの利用に関する家庭のルールの有無

- 家庭内でインターネットの使い方についてルールを決めていると回答した割合は66%。
- 学校種別でみると、小学生の63%、中学生の67%、高校生の31%が「ルールがある」と回答。
- 学校種別が上がるにつれて「ルールがない」との回答が増え、高校生では保護者とのルールの有無に関する認識に開きが見られる。

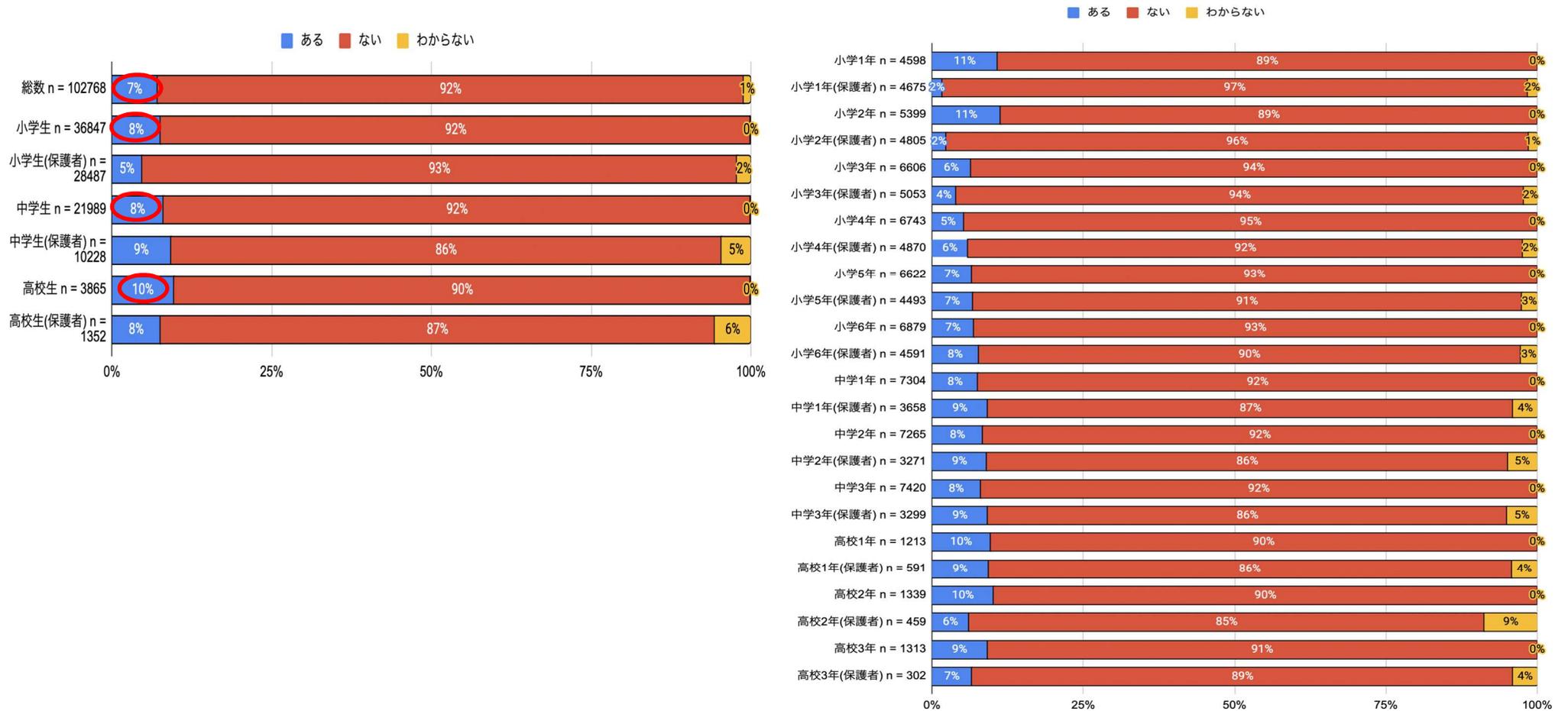
### 問6 あなたの家では、インターネットの使い方について、何か家庭でルールを決めていますか？



## 7. インターネットによるトラブルの有無

- インターネットによるトラブル（例：言葉などによるトラブル、インターネットで知り合った人とのトラブル、使いすぎによる健康への影響、ゲームへの課金などのトラブル）が「ある」と回答した割合は7%。
- 学校種別でみると、小学生の8%、中学生の8%、高校生の10%がインターネット上でトラブルになったことがあると回答。

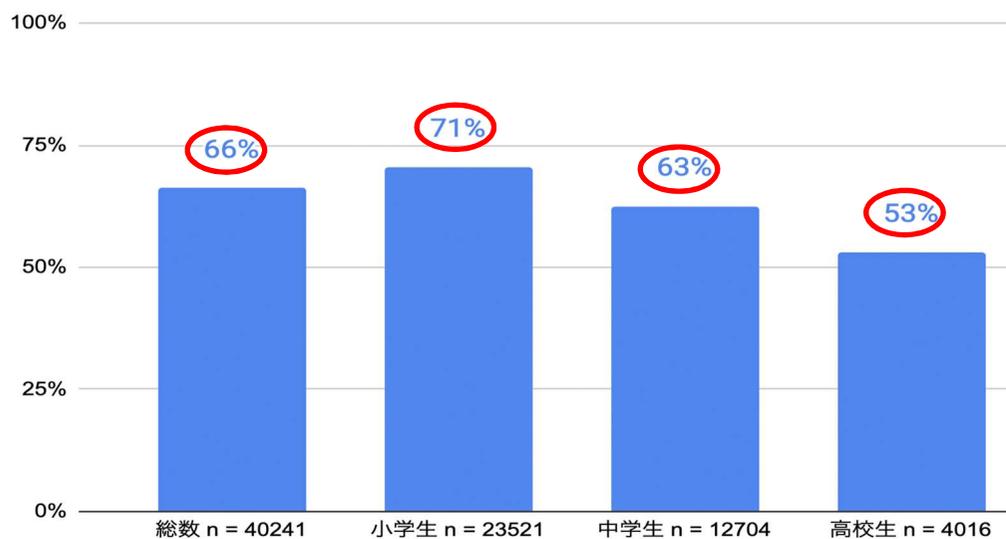
問7 あなたは（あなたのお子様は）インターネットでトラブルになったことがありますか？



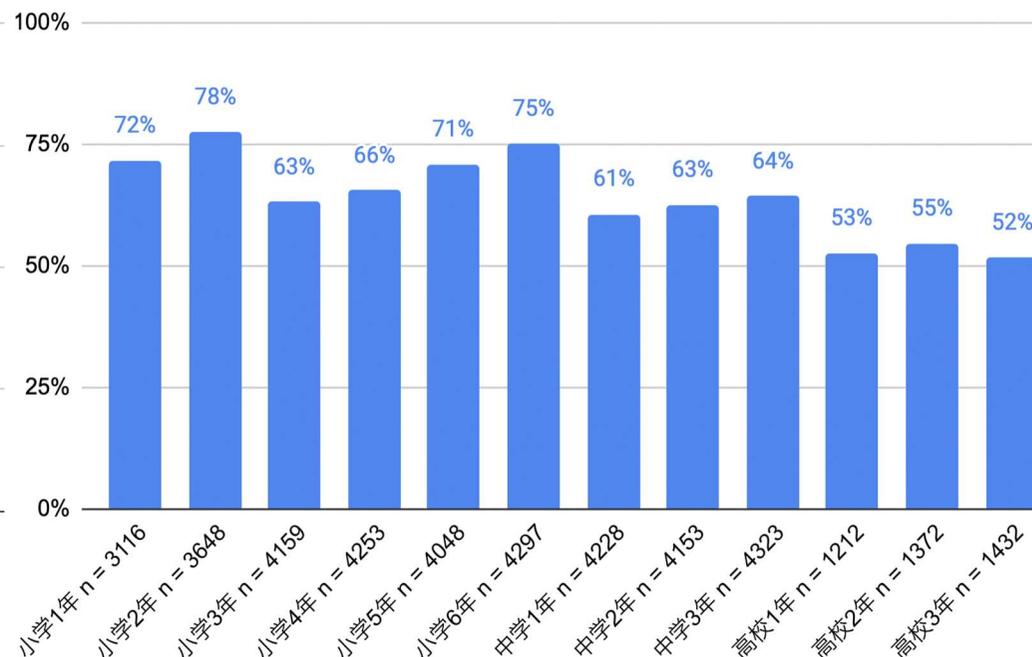
## 8. 診断問題平均正答率

- 児童生徒の正答率は、66%。  
学校種別でみると、小学生71%、中学生63%、高校生53%の正答率。  
(注) 学年毎の問題数はページ1を参照。  
小学生と中学生は、基礎的な問題が出題される1学期の問題の正答率。高校生は通年での正答率。

正答率の状況（学校種別）



正答率の状況（学年別）



## 9. 【参考資料】 診断問題で正答率が低い問題

小学1・2年 正答率：48%

[問題文]

ゲームのたいせんあいてから「こんにちは、わたしは小3の女子です。あなたも小学生ですか？」とメッセージがきました。どうするのがよいでしょうか？

[選択肢]①「わたしは小1（小2）です」ときかれたことにこたえる ② なにもこたえない ③「メッセージはおくらないでください」とこたえる

[答え] ②

[解説]

知らない人からのメッセージには、答えないようにしましょう。小3の女子と書かれていても、それはウソで、悪い大人かもしれません。絶対に自分の名前や住所、学校名、学年、クラスなどを教えてはいけません。変だな？と思ったらすぐに大人に相談しましょう。

中学生 正答率：10%

[問題文]

「いきなりでごめんね。となりのクラスのAだけど、ちょっと直接会って相談したいことがあるんだけどいいかな...家の近くまで行くから住所教えてくれない？」というメールが送られてきました。この時の考え方として適切なものをすべて選びましょう。

[選択肢]①住所を教えて家まで来てもらう ②学校でAさんに直接確認する ③メールで理由を尋ねる ④メールに返信しない

[答え] ②④

[解説]

となりのクラスのAさんではなく、別人のなりすましメールの可能性があるので、住所を聞かれても簡単に教えてはいけません。

メールやメッセージに違和感をおぼえたら、本当に本人からのものであるという確証が得られるまで返信をしてはいけません。また、たとえ住所だけであっても危険がないということはありません。住んでいる場所が特定されることで、郵便ポストをあさられたり、待ち伏せや尾行されたりするかもしれません。なりすましには十分注意しましょう。

高校生 正答率：11%

[問題文]

あなたはインターネットをしていたところ、突然画面がフリーズし「この電話番号に連絡してください」というメッセージが表示されました。このときの対応として適切なものをすべて選びましょう。

[選択肢]①画面に指示された連絡先(電話番号)にすぐに電話する ②大人や保護者に相談する ③販売店に相談する ④警察や消費生活センターに相談する

[答え] ②③④

[解説]

画面に指示された連絡先が正しいとは限らないので、きちんと確認してから対処しましょう。

指示された連絡先に連絡した場合、相手は、ウイルスに感染したと思わせ、駆除したふりをして代金を請求して来る場合などもあるため注意が必要です。まず、ネットワークを切断してから再起動し、ウイルス対策ソフトで診断を行い、安全を確認してください。